歯科衛生士養成機関　各位

平成 26 年 6 月

全国歯科衛生士教育協議会
会　長　　眞　木　吉　信

歯科衛生士教育に関する現状調査の結果報告

拝啓

貴校におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます.

全国歯科衛生士教育協議会では，歯科衛生士教育の現状を把握し，将来の歯科衛生士教育について検討するために，昨年に引き続き，全国歯科衛生士教育協議会会員校の協力を得て アンケート調査を実施いたしました. 今回は、全国歯科衛生士教育協議会理事会の要請に基づいて，①専任教員の職種と人数、②志願者，入学者、求人数の地区別データ，③平成 21，22 年度入学者の卒業までの動向について，新たな 3 項目の分析を加えました。以下はその調査結果をまとめたものです.

各養成校の教育に対する現状と入学者の動向や就職状況を把握する上で欠くことのできない資料となるのではないかと考え，ご協力いただきました各校に送らせていただきます.

本調査へのご理解とご協力に対して，歯科衛生士養成機関各位に御礼申し上げます.

敬具

【現状調査報告】

1．調査対象

本調査の対象は，平成 26 年 4 月 30 日現在，全国歯科衛生士教育協議会に加盟していた歯科衛生士養成校 155 校.

2．調査実施期間

平成 26 年 4 月 30 日から 5 月 30 日にかけて郵送によるアンケート調査を行った.

3．調査内容

本調査は各養成校に記名方式の調査用紙を封書で郵送し，下記の項目について回答を得た.

1）平成 25 年度　卒業生数，就職者数，求人件数，求人人数
2）平成 26 年度　入学定員，志願者数，入学者数
3）平成 26 年度　在学外国人留学生の国籍と人数
4）在学中の男子学生数および男子学生受け入れの有無
5）専任教員の人数

4．結　果

調査対象とした 155 校の全養成校から回答を得た．回収率は 100%であった(参考：回収率は　，平成 22 年度以降 100%).

ただし，平成 25 年度の求人人数が未記入の回答があったため，求人人数については求人件数と同数であるとして統計処理を行った.

155 校中 4 年制の大学は 8 校，短期大学は 13 校，専門学校は 135 校で，本年度専門学校から短期大学となった養成校が 1 校あったため，入学状況については短期大学として，2･3 年生については専門学校として，また，昼間部と夜間部の 2 部制の養成校が 9 校あったが，昼･夜間を合計して集計した.

① 入学定員と入学者の推移

全国の入学定員は 8,346 名で，入学者数は 7,812 名で，過去最多の人数となった(表 1)．今年度は新たに 4 校の養成校が加入したため，入学定員は昨年度より 310 名増となった．
全国の入学定員に対する入学者数(入学定員充足率)は，平成 21 年度までは減少傾向にあったが，平成 23 年度では 91.2%，平成 24 年度では 93.2%，平成 25 年度では 97.1%にまで回復した．しかし，平成 26 年度はやや減少し 93.6%と一昨年並であった．(表 2，図 1)．

また，入学者数が入学定員に満たない養成校は，平成 20 年度は 69.3%であったが，その後は平成 22 年度では 56.8%，平成 23 年度では 47.0%，平成 24 年度では 45.7%，平成 25 年度には 35.8%まで回復したが，平成 26 年度は 46.5%とやや増加した(表 2)．

入学定員充足率の年次推移を地区別に比較すると，北海道は減少傾向，東北は増加傾向であった．また，東海および近畿/北陸は平成 23 年以降 100%を超えている(図 2)．

② 入学定員と入学志願者の推移

全国の入学定員に対する志願者倍率は平成 21 年度に最低となり 1.01 倍であったが，平成 22 年度では 1.13 倍，平成 23 年度および平成 24 年度では 1.21 倍，平成 25 年度では 1.32 倍となったが，平成 26 年度では 1.29 倍とやや減少した．最も高い養成校は 9.73 倍であった．志願者数が定員に満たない養成校は 29.0%で昨年度よりもやや増加した(表 2)．

志願者倍率の年次推移を地区別に比較すると，北海道は減少傾向，東海は増加傾向，他の地区はほぼ横ばいであった(図 3)．

学校種別で志願者倍率と入学定員充足率を比較すると，いずれも大学が最も高かった(表 3)．

③ 就職者数・求人件数・求人倍率の状況

平成 25 年度は卒業者数 6,504 名，就職者数 6,144 名で就職率は 94.5%であった．求人件数は 59,925 件で求人人数は 92,174 名と近年では最も多く，求人倍率は 15.0 倍でほぼ昨年と同様であった(図 4)．

また，地区別に求人倍率と就職率を比較すると求人倍率が最も高かったのは関東/甲信越 19.7 倍，最も低かったのは北海道 8.0 倍であった．就職率が最も高かったのは北海道 98.0%，最も低かったのは九州/沖縄 88.3%であった．

学校種別の就職率は専門学校が 95.7%と最も高く，次いで大学が 94.4%，短期大学が 87.3%であった．短期大学の卒業生は進学する者が多いと思われる．

④ 在学外国人留学生の国籍と人数

在学外国人留学生は平成 25 年度では全体で 15 名であったが，平成 26 年度では中国 10 名，台湾 1 名，韓国 1 名，朝鮮 1 名の合計 13 名であった．

⑤ 在学中の男子学生数と男子学生入学受入れの有無

在学中の男子学生数は平成 24 年度は 21 名，平成 25 年度は 28 名であったが，平成 26 年度では 1 年生 13 名，2 年生 11 名，3 年生 4 名，4 年生 4 名の計 31 名と増加傾向にあった．

男子学生入学受入れの有無については受入れ「有り」の養成校は平成 24 年度 57 校(37.0%)，平成 25 年度 60 校(39.2%)，平成 26 年度では 63 校(40.6%)であった．学校別では大学が 8 校(100%)であったのに対し，専門学校では 49 校(36.3%)，短期大学では 6 校(46.2%)であった．男子学生が増加傾向にある一方で，男子学生受入れの環境が整っていない養成校が 6 割を占めている．

⑥歯科衛生士養成校の専任教員数

歯科衛生士養成校の専任教員数は合計 1,119 名でその内訳は，歯科衛生士 865 名，歯科医師 145 名，その他 109 名であった.

⑦入学者数と卒業者数の比較

本年度は平成 22，23 年度の入学者の卒業までの動向を調査することによって，3〜4 年間の脱落者の割合を算出した．その結果、脱落者の割合は専門学校では，平成 24 年度卒業生 10.5%，平成 25 年度卒業生 14.1%、短期大学では平成 24 年度卒業生 12.0%，平成 25 年度卒業生 11.4%と毎年 1 割強の値であったが，4 年制大学では平成 24 年度卒業生の脱落者はほとんどなく，平成 25 年度卒業生数は 3 年生への編入制度が導入されたことによって，逆に増加していた．(この値は入学者数と卒業者数の差から割合を算出したもので，留年者および休学者などは考慮していない)

歯科衛生士養成校入学定員・志願者数　等の動向経年調査　2014

表１　卒業，就職，求人状況および入学定員，志願者，入学者数について

155校/155校中(回答率　100%)

平成25年度				平成26年度		
卒業者数	就職者数	求人件数	求人人数	入学定員	志願者数	入学者数
6,504	6,144	59,925	92,174	8,346	10,775	7,812

就職者に対する求人件数倍率	9.75				
就職者に対する求人人数倍率	15.0				
志願者倍率=志願者数/入学定員	1.29	最低	0.24		
		最高	9.73		
入学者率=入学者数/入学定員×100	93.6%	最低	18.4%		
		最高	128.8%		
志願者数が定員に満たない学校	29.0%	平成25年度	25.2%	平成24年度	35.1%
入学者が定員に満たない学校	46.5%	平成25年度	35.8%	平成24年度	45.7%

表２　入学定員充足率と志願者倍率　等の年次推移

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
入学定員充足率	105.6%	98.5%	88.2%	80.1%	79.4%	85.2%	91.2%	93.2%	97.1%	93.6%
入学者が定員に満たない養成校の割合(%)	25.2%	36.5%	56.8%	69.3%	60.1%	56.8%	47.0%	45.7%	35.8%	46.5%
志願者倍率	1.69	1.54	1.26	1.04	1.01	1.13	1.21	1.21	1.32	1.29
志願者が定員に満たない養成校の割合(%)	11.4%	23.0%	37.1%	49.6%	50.0%	43.2%	35.8%	35.1%	25.2%	29.0%

表３　学校種別の志願者倍率と入学定員充足率

平成26年度	志願倍率（倍）	入学定員充足率(%)
専門学校	1.16	91.6
短期大学	1.77	105.2
大　　学	3.34	105.8
全　　体	1.29	93.6

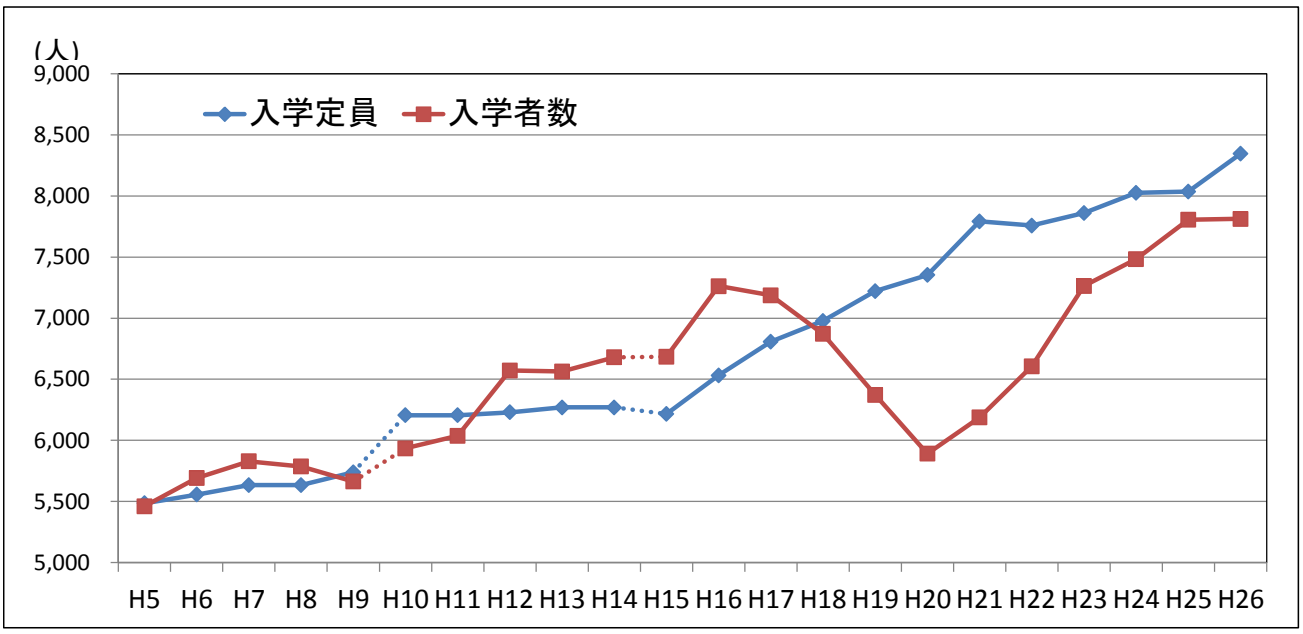


図１　　歯科衛生士養成所の入学定員と入学者数の推移

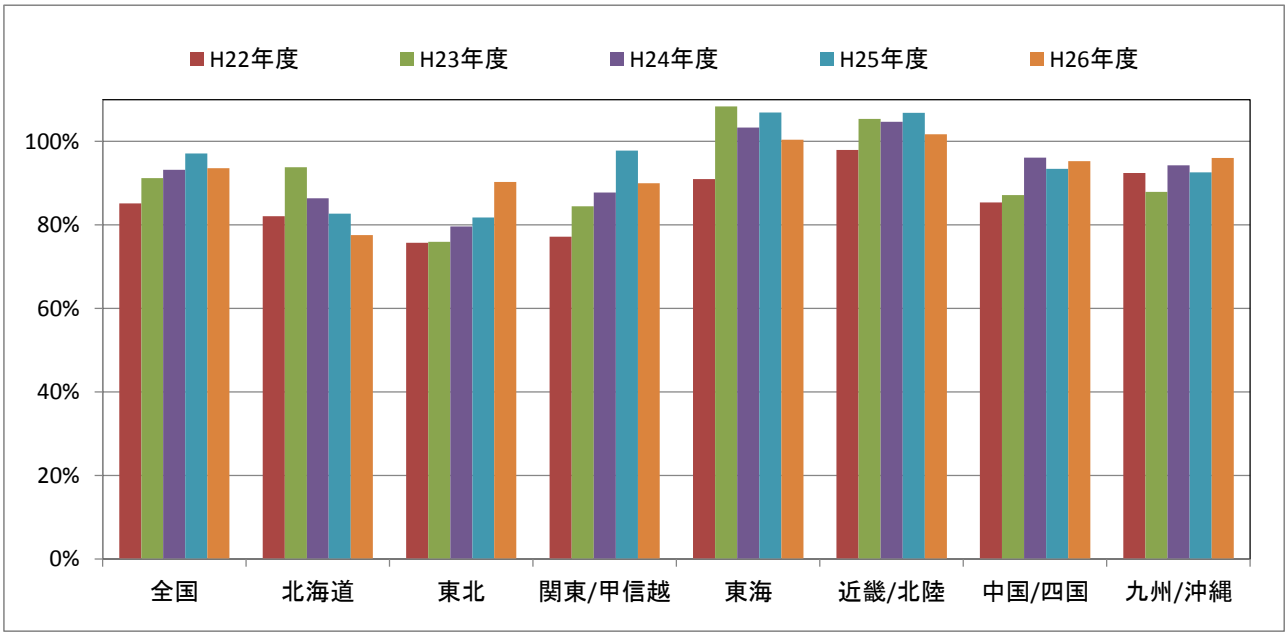


図２　　地区別入学定員充足率の年次推移（平成22年度～26年度）

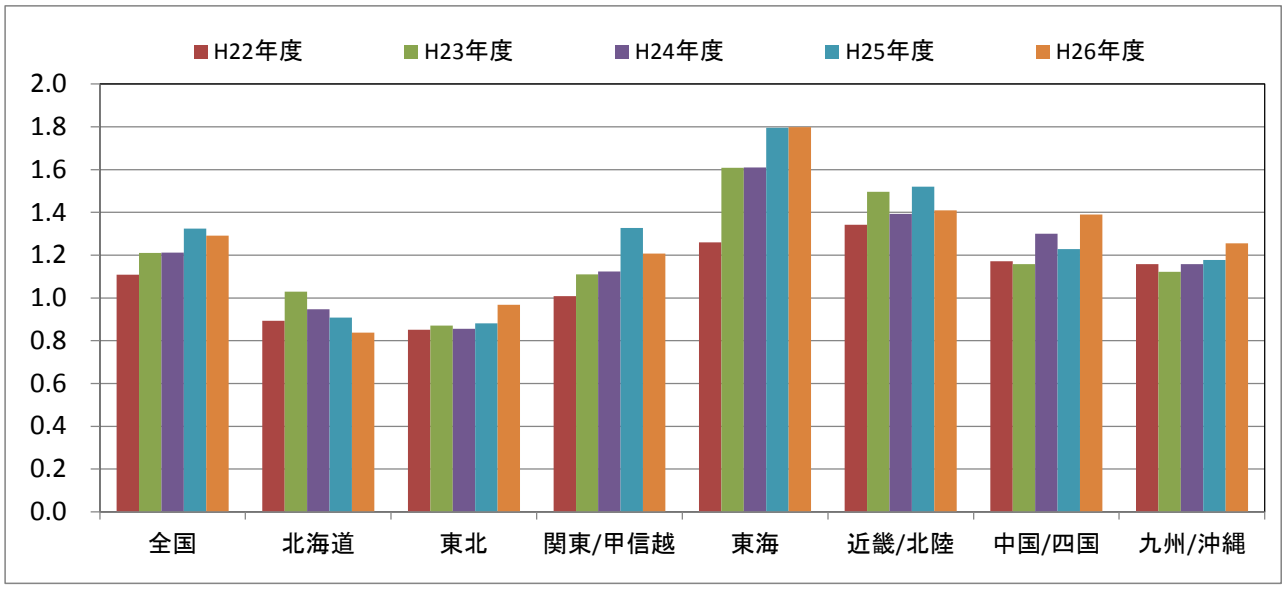
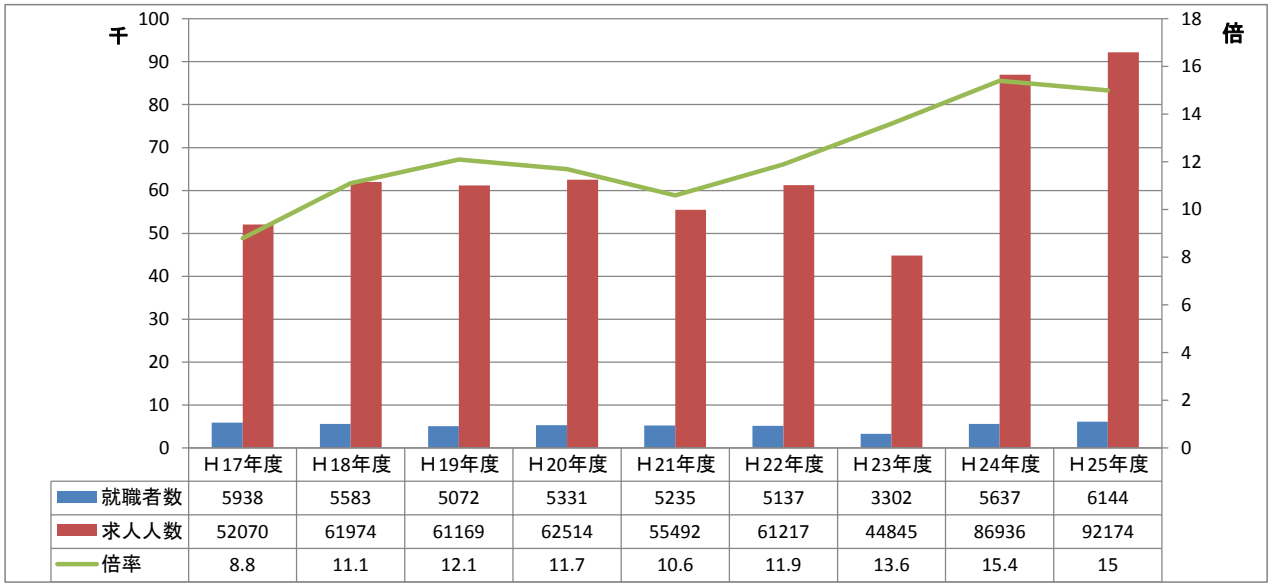


図３　地区別入学定員充足率の年次推移（平成22年度～平成26年度）



	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
就職者数	5938	5583	5072	5331	5235	5137	3302	5637	6144
求人人数	52070	61974	61169	62514	55492	61217	44845	86936	92174
倍率	8.8	11.1	12.1	11.7	10.6	11.9	13.6	15.4	15

図４　就職者数・求人人数・求人倍率の年次推移

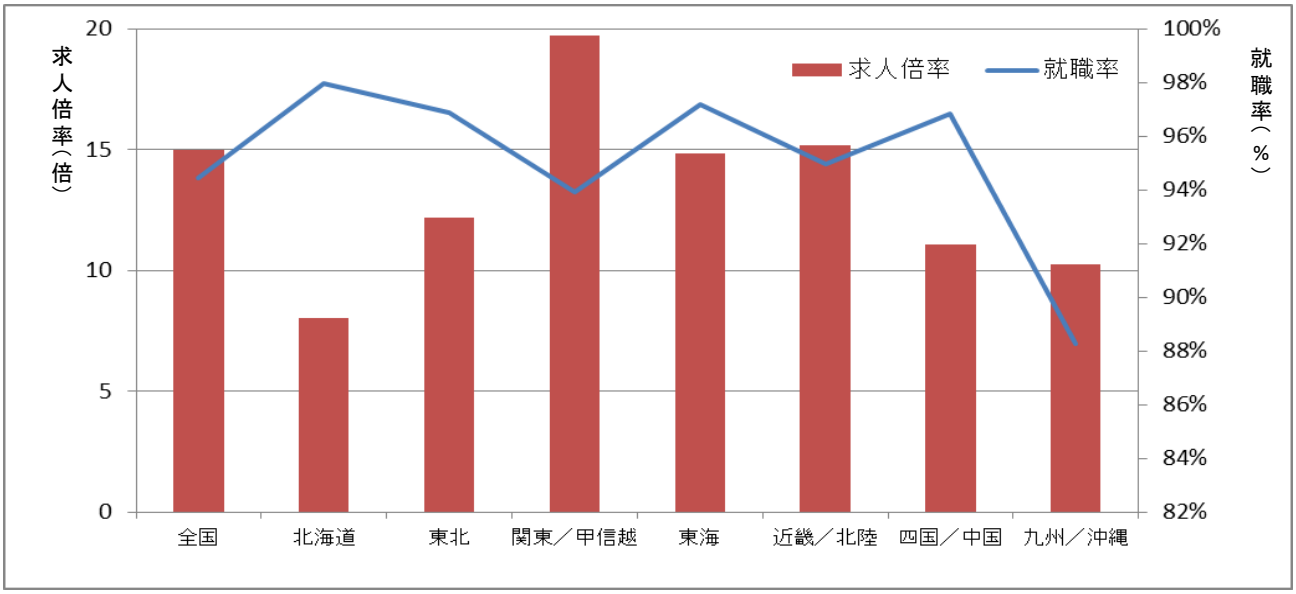


図５　地区別求人倍率と就職率